



日本の宝島“天草”の創造を目ざして！

市政だより

AMAKUSA
天草



「宮田秋祭りの4頭の獅子舞」

10月18日、倉岳町・宮田地区で毎年恒例の「宮田秋祭り」が開かれ、神幸行列のほか、太鼓舞や獅子舞などが披露されました。“宮田獅子”は、100年以上前から伝承されており、4頭の獅子がいっしょに舞うのはとても珍しいとのこと。玉振りの動きに合わせて力強く舞う姿はとても勇壮で、会場に訪れた観客らを魅了しました。

主な内容

- 天草市“この1年”…………… 2～3
- 健全化判断比率などを公表！…………… 4～5
- ローカルマニフェスト50の政策の達成状況… 6～9
- 全国子守唄サミット&フェスタ'09in天草… 10
- 秋の叙勲・天草大陶磁器展…………… 11
- 宝島の話題…………… 12～15
- みんなの広場…………… 16～19

平成21年

12

1

No.88

7月

- 3・4日 熊本県中学校総合体育大会が、天草地域を主会場に開催。
- 25～30日 教育交流の一環として、姉妹都市・米国エンシニタス市の高校生などが来市。

8月

- 1・2日 天草ほんどハイヤ祭り、「子ハイヤ」・「花火大会」を開催。
- 8日 天草ほんどハイヤ祭りの「道中総踊り」などが3年ぶりに夏の開催。
- 16日 牛深地域成人式に、新成人183人が出席。
- 30日 衆議院議員総選挙。

9月

- 8日ほか 金婚夫婦307組を表彰。
- 19日 海中展望船・サブマリノ号の運航が再開。
- 〃 「空の日フェスタin天草空港2009」を開催。



7/23 棚底城跡が、市初の「国指定史跡」となる。



8/23 「第1回熊本県女性消防操法大会」に市消防団・女性消防隊が出場。

1月

- 3・4日 本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和・天草・河浦地区で「成人式」を開催。合計829人の新成人が出席。
- 11日 消防出初式が行われ、市消防団員など約1,200人が参加。

2月

- 8日 熊日駅伝で本市男子チームが3位入賞。
- 15日 「天草つんのでフェスタ」を開催。
- 22日 「日本の宝島“天草”づくり講演会」を開催。

3月

- 1日 倉岳高校最後の卒業式・天草高校分校移行式が行われる。
- 8日 赤崎小学校が134年の歴史に幕を閉じる。
- 27日 市民憲章・市のシンボルなどを制定。
- 〃 ワイン・リキュール特区に認定。



1/25 熊日都市対抗女子駅伝で本市チームが準優勝に輝く。



4/13 映画「おくりびと」の脚本を手がけた本市出身の小山薫堂さんが初の市民栄誉賞を受賞。

天草市 “この1年”

～平成21(2009)年の出来事を振り返る～

今年も残すところあと1カ月。この1年、本市ではさまざまな行事や出来事がありました。天草市の“この1年”を振り返ってみましょう。



10/28 「日本ジオパーク(大地の公園)」に“御所浦地域”が認定される。

10月

- 1日 本渡地区の市街地循環バス「のってみゅーかー」の実証運行開始。
- 25日 「天草殉教祭」を開催。
- 31日 天草文化交流館の来館者が1万人を突破。
- 31日～ 県下最大級の「天草大陶磁器展」を開催。
- 11月4日 約3万人の人出でにぎわう。

11月

- 7～8日 「全国子守唄サミット&フェスタ'09in天草」を天草町で開催。



4/17～19 第38回牛深ハイヤ祭りを盛大に開催。約8万人の観光客らでにぎわう。

4月

- 1日 本渡港と三角港を結ぶ「天草宝島ライン」が就航。
- 〃 旧8町の商工会が合併し「天草市商工会」が発足。
- 6日 市と8つの団体が災害時における物資の提供などについて協力する「災害時応援協定」を締結。

5月

- 10日 市総合防災訓練を御所浦地区で実施。
- 30日 放送大学熊本学習センター天草教室が市立中央図書館内に開設。
- 30日～ 第5回西の久保公園「天草花しょうぶ祭り・大バザール」を実施。27,000人の人出でにぎわう。

6月

- 1日 生ゴミ分別のモデル事業が五和地区全域で始まる。



5/25 第25回天草国際トライアスロン記念大会を開催。国内外から748人が参加。

「にほんの里100選」に選定

～五和町・二江地区～



「島の宝100景」に選定

▼御所浦町・横浦島の「籠船」



▼五和町・通詞島の「イルカが泳ぐ通詞島」



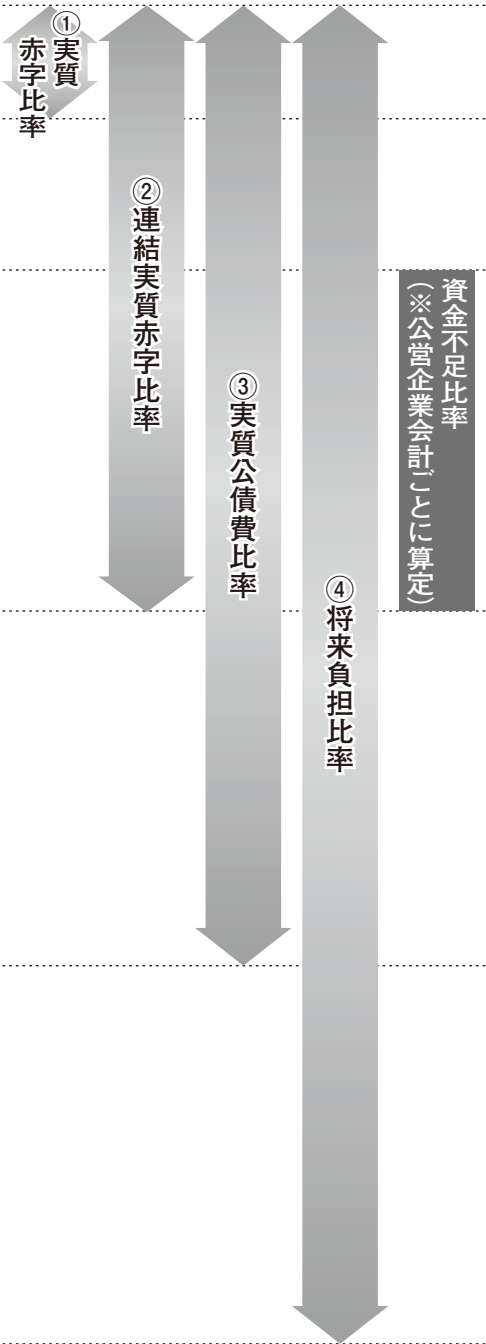
◆健全化判断比率などの対象会計範囲

一般会計			普通会計	
天草市 特別会計	歯科診療所特別会計			
	斎場事業特別会計			
	国民健康保険特別会計			
	老人保健医療特別会計			
	介護保険特別会計			
	国民健康保険診療施設特別会計			
	公営企業会計	法非適用事業	公共下水道事業特別会計	公営事業会計
			特定環境保全公共下水道事業特別会計	
			農業集落排水事業特別会計	
			漁業集落排水事業特別会計	
			浄化槽市町村整備推進事業特別会計	
			簡易水道事業特別会計	
法適用事業		埠頭事業特別会計		
		病院事業会計		
		水道事業会計		

※本市の特別会計には上表のほか、一町田財産区・新合財産区・富津財産区の3つの特別会計がありますが、これらは市と異なる法人格を持つため、対象となりません。

一部事務組合	天草広域連合
	上天草衛生施設組合
	上天草・宇城水道企業団
	熊本県後期高齢者医療広域連合
	熊本県市町村総合事務組合

第三セクターなど	地方公社・
	(株)リップランド
	(株)くらたけ
	(株)プラスファイブ
	(株)うしぶか
	(有)愛夢里
	天長フェリー(株)
	天草エアライン(株)
	(財)天草下島北部地域観光振興公社
第三セクターなど	土地開発公社



【用語の解説】

- ①実質赤字比率…福祉や教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の普通会計に占める赤字の割合。財政運営の深刻度を示すもの。
- ②連結実質赤字比率…地方公共団体のすべての会計の赤字と黒字を合算した赤字の割合。地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すもの。
- ③実質公債費比率…収入に対する一般会計など

の借入金返済額の割合。資金繰りの危険度を示すもの。

- ④将来負担比率…収入に対する一般会計などの借入金や、将来支払っていく可能性がある負担などの割合。将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。

- 資金不足比率…公営企業の資金不足額が、その公営企業の事業規模である料金収入に占める割合。経営状況の深刻度を示すもの。

天草市の財政状況

平成20年度決算に基づく

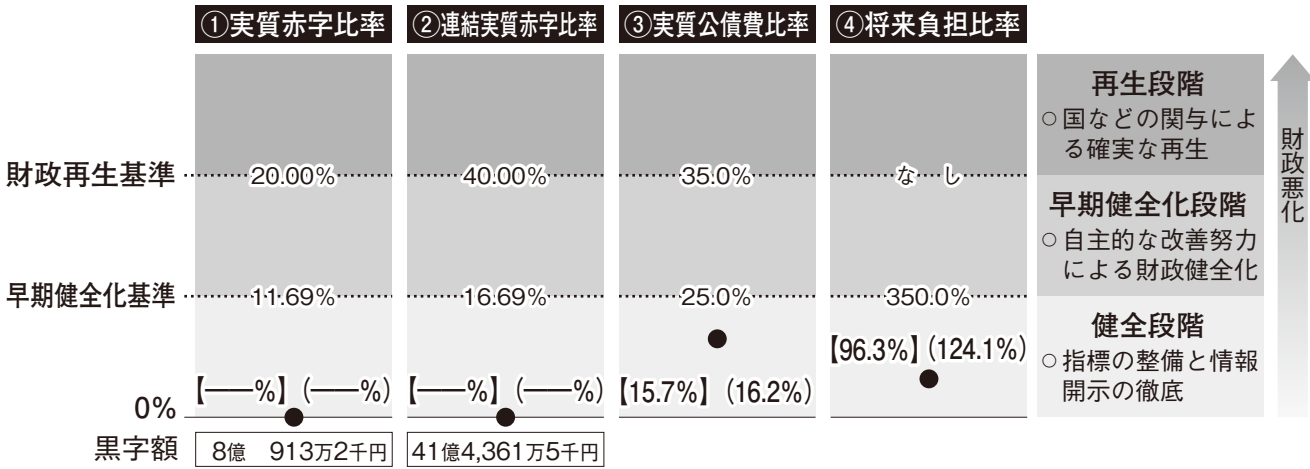
健全化判断比率・資金不足比率を公表！

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が全面的に施行されたことを受け、財政の健全度を示す4つの健全化判断比率と資金不足比率を公表します。各比率の算定方法などについての詳細は、本庁・財政課へお尋ねください。

市における健全化判断比率と資金不足比率は、いずれも早期健全化基準、経営健全化基準を下回っています。しかし、各指標の数値が基準を下回っていれば問題がないことにはなりませんので、今後も、財政健全化計画に沿った財政運営を行い、財政の健全化に努めます。

健全化判断比率

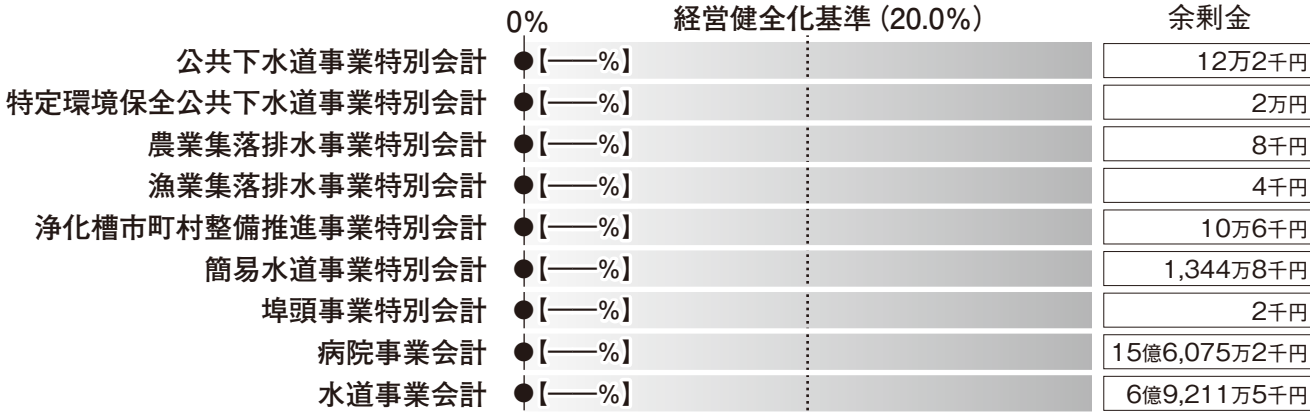
財政の健全度を示す実質赤字比率など4つの「健全化判断比率」は、平成20年度はいずれも早期健全化基準を下回りました（下表参照）。
なお、健全化判断比率の対象会計の範囲を5ページに掲載しています。



※【 】内は本市の比率。—%は赤字額がないことを表します。（ ）内は前年度比率。
※連結実質赤字比率の財政再生基準は、平成20・21年度が40%、同22年度が35%、同23年度以降が30%になります。

資金不足比率

各公営企業会計の健全度を示す「資金不足比率」は、平成20年度はいずれの公営企業会計も資金不足は生じていないため、該当ありません（下表参照）。



※【 】内は本市の比率。—%は赤字額がないことを表します。

【問い合わせ先】 本庁・財政課財政係 ☎ 1111内線1362

50の政策の達成状況



平成18年4月の市長選挙時に、安田市長が『日本の宝島・天草の創造』を天草市づくりの基本理念とするローカル・マニフェスト（地方政策宣言）を公表しました。

この公表から4年目となることから、今回、ローカル・マニフェストに掲げられた50の政策の達成状況についてお知らせします。

■ローカル・マニフェストとは

ローカル・マニフェスト（地方政策宣言）とは、都道府県知事や市町村長などの選挙のときに、候補者が有権者に対して発表する「公約」のことで、候補者と有権者との「契約」ともいえます。

ローカル・マニフェストには、どのような政策を、いつまでに、どの財源を使って実現するか、ということなどがあらかじめ明記されており、すべての政策の達成状況などを評価・検証することが求められます。

■安田市長が公表したローカル・マニフェスト

平成18年4月の市長選挙時に、安田市長が公表したローカル・マニフェストは、次の7つのプロジェクトで構成されています。

- I・豊かな産業づくり
- II・魅力ある観光づくり
- III・暮らしやすい生活環境づくり
- IV・地域づくりと人づくり
- V・機能的な社会基盤づくり
- VI・環境にやさしいまちづくり
- VII・ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保

また、7つのプロジェクトごとに、「『集団営農組織』の拡充」「年間観光入込客数1,000万人の突破」「育児休業制度における財政支援」「地区振興会への職員の配置」など、全部で50の政策が掲げられています。

■50の政策の達成状況

ローカル・マニフェストに掲げられた50の政策の達成状況を達成度別（Ⅱ下表）に見ると、「おおむね目標を達成したもの」が20政策、「事業に着手し成果が得られているもの」が16政策、「計画を策定し事業に着手しているが成果が得られていないもの」が12政策、「未着手または計画の検討段階」が2政策と、7割以上で成果が出ている状況です。

プロジェクトごとに見ると「機能的な社会基盤づくり」や「環境にやさしいまちづくり」、「地域づくりと人づくり」で成果が得られており、「豊かな産業づくり」や「行財政改革と財源確保」の達成度が比較的低くなっています。

※詳細は、本庁・企画課企画調整係 ☎1111内線1315へお尋ねください。

◆50の政策の達成度別・政策数 (平成21年9月30日現在)		達成度	A おおむね目標を達成したもの	B 事業に着手し成果が得られているもの	C 事業に着手しているが成果が得られていないもの	D 未着手または計画の検討段階	E 中止（見直し）
達成度別の政策数			20	16	12	2	0
プロジェクト別の内訳	I・豊かな産業づくり		2	4	3	0	0
	II・魅力ある観光づくり		2	2	2	0	0
	III・暮らしやすい生活環境づくり		6	1	1	2	0
	IV・地域づくりと人づくり		6	1	2	0	0
	V・機能的な社会基盤づくり		1	3	0	0	0
	VI・環境にやさしいまちづくり		3	0	1	0	0
	VII・ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保		0	5	3	0	0

◆50の政策の期限・達成状況・達成度				
政 策		期限	達 成 状 況	達成度
I・豊かな産業づくり				
1	「集団営農組織」の拡充	4年	平成18年度に天草市農作業受託組合等連絡協議会を設立しました。また、集団営農組織には機械購入に対する補助を行うなどの支援を行いました。さらに、平成20年度には営農組合（任意組合）が農業生産法人を設立しました。	B
2	「ふるさと宅急便事業」の展開	1年	平成18年度に市内の加工グループにふるさと宅急便事業に対する参加意向調査や打ち合わせ会議を実施しました。チラシを作成し、旧市町のふるさと会などに対し発送しました。平成20年度から、団体が行う特産品のPR事業に対して助成を行うこととしました。	B
3	リースハウスの新設と5カ年計画の策定	4年	平成18年度に「あまくさ農業を元気にするリースハウス5カ年計画」を策定し、計画に基づき毎年度整備を図っています。リースハウス建設実績＝のべ54棟。	A
4	(仮称)『天草グリーンライフ・コミュニティ』の創出	4年	平成18年度にNPO法人グリーンライフあまくさを設立し、事業推進のための組織化を図りました。また、トラスト農場の整備（168a）や、シンポジウム(3回)・体験ツアー(9回)などを実施。	B
5	イノシシ解体処理施設の建設	4年	解体処理施設建設に向け、イノシシ肉の販売方法・商品開発の検討や、天草保健所などの関係機関と協議を行っています。	C
6	つくり育てる漁業の定着	1年	天草漁協と連携して、稚魚や中間育成した幼魚などの放流事業を実施しています。	B
7	水産加工企業の誘致	4年	市内における水産加工業の実態把握や県内外の企業誘致のため訪問活動を行っています。しかし、水産業の低迷などにより原料の確保が難しく企業誘致は厳しい状況です。	C
8	消費生活相談専門員の配置	1年	平成18年8月、本庁(別館)・商工観光課内に消費生活相談員を配置し、相談の受け付け(386件)や研修会(22回)を実施しています。また、同21年度からは3人体制とし、相談体制の強化を図っています。	A
9	有効求人倍率の上昇	10年	企業誘致促進条例を制定し、固定資産税の課税減免などを実施。また、地元事業者に対して、商工業設備投資資金利子補給などの事業を実施。※天草公共職業安定所の有効求人倍率＝平成17年度・0.40倍、平成20年度・0.39倍。	C
II・魅力ある観光づくり				
10	年間観光入込客数1,000万人の突破	10年	テレビ、ラジオ、新聞などの広告・宣伝媒体を利用し、本市の観光情報やイベント情報などを発信しています。また、季節ごとの観光の魅力をPRするため、年間を通して観光イベントを実施し、観光客の誘致を図っています。	C
11	九州新幹線の全線開通に向けた県内観光地の連携強化	4年	県内の横軸連携を図るため、平成18年10月に阿蘇・熊本・天草観光推進協議会を設立。ポスターなどの作成や、3地域の観光案内所に圏域のパンフレットを設置するなど、情報の発信・共有を図っています。	B
12	法人としての天草市観光協会の設立	1年	平成19年7月に「社団法人・天草宝島観光協会」を設立しました。同協会では、観光PR事業、旅行商品の支援、旅行商品の開発のための招待や人材育成などを行っています。また、観光を通じて天草のブランド化を推進しています。	A
13	公設市場の開設	4年	平成19年度に本渡地区卸売市場整備促進協議会で作成した「本渡地区卸売市場整備構想」に基づき、3市場統合による総合市場整備を検討しました。現在、老朽化した天草漁協魚市場の整備について、漁協などと検討を行っています。	C
14	(仮称)『天草物産館』の設置	2年	平成19年度に市が事業主体として建設を予定していましたが見直し、同20年度にあまくさ農協・本渡五和農協が共同で事業主体となり、市も一部助成を行い直売所が建設されました。	B
15	下田温泉の活性化と滞在型観光の促進	4年	平成18年度からまちづくり交付金事業により観光交流センター（下田温泉ふれあい館ぷらっと）や温泉広場・五足の湯、さくら公園などの整備を行っています。	A
III・暮らしやすい生活環境づくり				
16	育児休業制度における財政支援	2年	国の制度である「中小企業子育て支援助成金制度」を活用していただけるよう、事業主に対して同制度の周知を図っています。	D
17	義務教育就学前までの医療費の全額助成	1年	平成18年度から、義務教育就学前までの乳幼児を対象に、医療費の一部負担額の全額を助成しています（受給者数27万528人、助成金見込み額5億2,348万円）。	A
※達成度…A＝おおむね目標を達成したもの、B＝事業に着手し成果が得られているもの、C＝事業に着手しているが成果が得られていないもの、D＝未着手または計画の検討段階、E＝中止（見直し）				

◆50の政策の期限・達成状況・達成度

政 策		期限	達 成 状 況	達成度
Ⅴ・機能的な社会基盤づくり				
35	自設による光ケーブルネットワークの構築	3年	平成20年度までに御所浦町を除く支所、小・中学校、公民館などの公共施設を光ケーブルで結びネットワークの構築をしました。同21年度には御所浦地区への接続が完了することになっています。	B
36	旧市町境の市道の二車線化への着工	4年	旧市町境の道路はほとんどが国・県道であるため、関係機関に継続的に要望を行っています。また、市道については重要な路線を優先的に整備しています。	B
37	本渡中央地区の都市機能の整備	4年	天草宝島国際交流会館ポルトや天草文化交流館の整備をはじめ、歩道の美装化や街路灯の設置など魅力ある市街地の形成、来街者の利便性の向上を図りました。	B
38	天草エアラインへの財政支援	10年	利用促進のためのP R事業や需要開発推進事業を実施しています。また、天草エアラインが実施する経営に多大な影響を与える整備などに対して、補助や緊急対策貸付金の制度をつくり支援を行っています。	A
Ⅵ・環境にやさしいまちづくり				
39	ゴミ排出量の5%減少と資源化率20%へ向けた取り組み	4年	環境美化推進員の配置などにより、廃棄物の減量と資源化に努めました（資源化率＝平成18年度・15.91%、同19年度・19.41%、同20年度・24.08%。ゴミ排出量＝平成18年度・3万1,951 t、同19年度・3万2,092 t、同20年度・3万2,710 t）。	A
40	住宅用太陽光発電システムの助成	1年	「住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱」を制定し、同システムの設置者に対して補助を行いました（平成18年度・87件、同19年度・57件、同20年度・53件）。	A
41	し尿・浄化槽汚泥などをバイオマスによって資源化する再生処理センターの建設	4年	平成19年度に環境審議会からの答申を受け、「バイオマスタウン構想」を策定しました。今後は、同構想に基づき再生処理センターの建設に取り組みます。	C
42	「美しい天草づくりネットワーク推進協議会」のNPO法人化に向けた支援	1年	平成18年度から「美しい天草づくりネットワーク推進協議会」の法人化に向けた取り組みを支援し、平成19年9月にN P O法人として設立されました。	A
Ⅶ・ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保				
43	普通会計職員数の削減	4年	行政改革大綱と職員定員適正化計画に基づき、勧奨退職の推進などにより、平成18年4月1日現在の普通会計職員数1,225人を同21年4月1日現在で1,089人に削減しました。	B
44	合併特例債の有効活用	10年	合併特例債を活用して、道路・橋りょうや公園、防災行政無線の整備や図書館の改修、支所庁舎の建設などを実施。また、地域振興のための基金積立を行いました。	B
45	庁内組織及び機構の段階的な整備	4年	平成19年度に、普通会計職員650人体制を見据えた組織機構の見直し方針を策定しました。今後、この方針や現状を見ながら、段階的に整備していきます。	B
46	「天草市財政運営基本方針」の順守	10年	行政改革大綱と職員定員適正化計画に基づき、平成19年度に「普通交付税の合併算定替期間終了後（平成33年度）」を見据えた長期の財政健全化計画を策定し、決算確定後に同計画の中長期財政試算を見直し将来推計を作成しました。	C
47	官（役所）から民（民間）への業務の見直し	2年	平成19年度にアウトソーシング推進指針、公の施設運用指針やアウトソーシング推進計画を策定しました。推進計画などに基づきアウトソーシングを進めています。	C
48	P F I の手法の導入	2年	「天草市P F I 導入の手引き」を作成し、庁内で検討を行っています。※P F I＝公共施設の建設や維持管理、運営などを、民間の資金や経営能力、技術を活用して行うこと。	B
49	各病院・診療所についての民間移譲も含めた経営改善策の確立	3年	「市立病院等の経営の有り方等に関する審議会」からの答申や、総務省から示された「公立病院改革ガイドライン」を踏まえ、「天草市立病院改革プラン」を平成20年度に策定しました。本プランに基づき、同22年度から集中的な改革に取り組むことにしています。	B
50	上下水道の使用料の統一	3年	水道・簡易水道の使用料を、平成21年10月16日（12月分水道料金から適用）から不均一料金の解消や負担の公平性を図るため統一に向け料金の改定を行い一部実施しました。下水道の料金については、経済状況の動向を見ながら検討を行うことにしています。	C

※達成度…A＝おおむね目標を達成したもの、B＝事業に着手し成果が得られているもの、C＝事業に着手しているが成果が得られていないもの、D＝未着手または計画の検討段階、E＝中止（見直し）

◆50の政策の期限・達成状況・達成度

政 策		期限	達 成 状 況	達成度
Ⅲ・暮らしやすい生活環境づくり				
18	高校生を対象に骨密度検診の実施	1年	平成18年度から市内の高等学校と連携し、健康教室・講演会の開催や超音波骨評価・保健指導を実施しています（のべ50回、3,862人）。	A
19	35歳以上の市民の人間ドックの実施	2年	平成19年度から、35歳から70歳までの5歳刻みの節目に人間ドックを受診する人の費用の7割を助成しています（受診者1,762人）。	A
20	科学的根拠に基づいた運動教室の開催	1年	平成18年度から新和・五和・河浦地区で実施しています。毎年度新規参加者を募集していますが、申し込みが少ない状況です。また、気軽に運動に取り組んでいただけるよう、ウォーキングセミナーを実施しています。	B
21	防災行政無線のデジタル化	10年	現在、河浦町を除く地域では支所ごとにアナログの防災行政無線で防災行政情報を発信しています。本庁から一括放送などができないため、防災無線の整備について検討を行っています。	D
22	全市的な防災訓練の年1回の実施	1年	平成18年6月に「天草市地域防災計画」を策定しました。また、毎年1地域を選定し、天草市総合防災訓練を行っています。	A
23	「ハザードマップ」の全戸配布	4年	平成21年度に県管理河川や高潮の想定区域図による洪水ハザードマップや市内の危険区域、避難場所などを図示したマップを作成し、全戸に配布することにしています。	C
24	水道普及率のアップ	4年	市全体の水道普及率は90%を越えていますが、地域によってばらつきがあります。現在、水道普及率が低い地区を優先的に整備を行っています（平成20年度末の水道普及率・92.94%）。	A
25	ユニバーサルデザインによる店舗などの助成	1年	平成18年度からユニバーサルデザインによる店舗などの新築・増改築に、費用の3分の2を助成しています。	A
Ⅳ・地域づくりと人づくり				
26	地区振興会への職員の配置	1年	平成19年度から、51のすべての地区振興会に、同振興会の業務を主とする専属的な職員（コミュニティ主事）を配置しました。	A
27	自治組織自立のための市税の1%の財政支援	1年	住民自治の充実強化などを図るため、平成18年度からまちづくり協議会などに対して「地域自立コミュニティ活動支援事業補助金」を交付（平成18年度・6,871万円、同19年度、同20年度・6,738万2千円）。	A
28	地域づくりモデル事業に対する一部助成	1年	平成18年度から、まちづくり協議会などが行う先進的な事業に対して「まちづくりモデル支援事業補助金」を交付（平成18年度・3団体168万円、同19年度・4団体222万9千円、同20年度・3団体275万円）。	B
29	シンクタンク機能を有する『新・天草学林』の創設	2年	市のさまざまな課題に対応するため、熊本大学、熊本県立大学、崇城大学と包括協定を締結しています。包括協定により研究成果報告会、意見交換会の開催や各種審議会の委員・講師として大学から派遣を受けています。	C
30	男女共同参画社会の実現に向けた条例の制定・計画の策定	2年	平成18年度に「天草市男女が共に生きる社会づくり条例」を制定。また、内閣府との共催で男女共同参画宣言都市記念フォーラムを開催。平成19年度には男女共同参画計画を策定しました。	A
31	31人以上が在席する小学校1・2年の学級などに学習指導補助教員を配置	1年	小学校1・2年で、31人以上の多人数学級や特に支援を必要とする児童・生徒が在籍する学級などに細やかな学習指導を行うため、学習指導補助教員を配置（平成18年度・14人、同19年度・25人、同20年度・34人）。	A
32	小中学校3校に1人の割合で学校図書司書を配置	3年	平成18年度から学校司書を配置しています。学校司書の配置数（平成18年度9人、同19年度12人、同20年度16人、同21年度20人）。	A
33	学校規模適正化計画の策定	4年	平成20年度に学校規模適正化審議会からいただいた答申に基づき素案を作成し、説明会などを行っています。12月をめどに成案を作成します。	C
34	全島博物館構想計画の策定	1年	平成19年度に文化振興審議会の答申を受け、「全島博物館構想計画」を策定しました。年次計画を策定し、計画を推進することになっています。	A

※達成度…A＝おおむね目標を達成したもの、B＝事業に着手し成果が得られているもの、C＝事業に着手しているが成果が得られていないもの、D＝未着手または計画の検討段階、E＝中止（見直し）

山里に響くなつかしの子守唄

— 全国子守唄サミット&フェスタ, 09 in 天草 —



▲“福連木の子守唄”を歌う福連木子守唄保存会の皆さん（左写真）と福連木小学校児童（右写真）

「第21回全国子守唄サミット&フェスタ, 09 in 天草」が11月7日・翌8日、天草町の福連木子守唄公園を主会場に開催され、5,000人の来場客が訪れました。

その後、同公園で行われた『フェスタ』では、特設ステージで子守唄コンサートを実施。着物に身を包んだ福連木小学校児童による「福連木の子守唄」をはじめ、全国各地の子守唄伝承者などによる歌が披露され、会場を訪れた観客は、郷愁を誘うメロディーとともに流れる心いやされる歌声に、熱心に聞き入っていました。

子守唄から地域づくり

福連木里づくり振興会
会長 平松和徳さん



心いやされる子守唄の調べが、優しく語りかけてくれる。この文化が、福連木にあることを誇りに感じています。

正調で子守唄を歌える人も少なくなり、後世にどうやって伝えていくか、地域全体で知恵を絞り「福連木に来ると心がいやされる」といった地域づくりができるよう、“子守唄の里”として努力していきたいと思っています。



大分県佐伯市

静岡県沼津市

熊本県五木村

▲見事な歌声を披露する子守唄伝承者の皆さん

受章おめでとうございます

～秋の褒章・叙勲、危険業務従事者叙勲～

危険業務従事者叙勲が10月10日、秋の褒章と叙勲が11月2日・翌3日にそれぞれ発表され、市内から8人が受章されました。おめでとうございます。

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の㊦は褒章、㊧は叙勲、㊨は危険業務従事者叙勲。



田嶋 安さん
八幡町・69歳
㊦藍綬褒章
自然公園指導員



川邊 恭二さん
久玉町・79歳
㊧旭日小綬章
元牛深市議会議員



平山 松若さん
城下町・83歳
㊧旭日小綬章
元本渡商工会議所会頭



葦田 良司さん
港町・84歳
㊧瑞宝双光章
元学校医



澤村 東洋さん
栖本町古江・64歳
㊧瑞宝単光章
元栖本町消防団団長



松江 勝彌さん
天草町高浜南・66歳
㊧瑞宝単光章
元天草町消防団団長



相川 浩一郎さん
五和町鬼池・64歳
㊧瑞宝双光章
元海上保安官



荒木 利武さん
牛深町・70歳
㊧瑞宝単光章
元天草消防組合消防司令長

陶磁器の島、多くの人出でにぎわう

～天草大陶磁器展～

県下最大級の陶磁器展「天草大陶磁器展」が10月31日から11月4日まで、天草市民センターを主会場に開催されました。

この陶磁器展では、天草島内をはじめ県内外から77の窯元や陶芸家などの作品約25,000点が展示・販売されたほか、“陶磁器の島AMAKUSA陶芸展”の表彰式を実施（結果は右下参照）。また、テレビ東京（熊本県では“テレビ熊本：TKU”）で放送中の「開運！なんでも鑑定団」の公開収録が行われました（放送は、平成22年1月10日㊨正午から予定）。

このほか、天草宝島国際交流会館ポルト・本渡中央銀天街周辺では、本市出身で原型師のハマハヤオ氏が手がけたフィギュア作品などを展示する「ハマハヤオフィギュア展」や、市内外の芸術家が空き店舗を使って個展などを開く「街中ギャラリー」を開催。期間中は、県内外から約3万人の人出でにぎわいました。



▲期間中、約3万人の陶芸ファンなどにぎわいました



▲熱心に品定めをする来場者



▲ハマハヤオフィギュア展



▲「出張！なんでも鑑定団」の収録の様子

陶磁器の島AMAKUSA陶芸展結果（敬称略）

●グランプリ…高木健多（栄町）●準グランプリ…石井和洋（広島県福山市）●日比野克彦賞…金澤佑哉（北原町）●小川哲男賞…高島李恵（阿蘇郡南阿蘇村）●藤原恵洋賞…出口文教（熊本市）●鶴田一郎賞…熊高恵美（北原町）●鯉江良二賞…近藤聖子（愛知県新城市）●来場者賞…竹村智之（滋賀県大津市）



▲江岸寺を探検する参加者

歩いて学んで歴史を体感

～棚底探検ウォーク～

10/25

倉岳

7月に国指定史跡になった棚底城跡や全国的にも珍しい防風石垣群などを巡る「棚底探検ウォーク」が10月25日に開催され、市内外から70人が参加しました。これは棚底地区振興会が、地元の史跡や歴史などを学ぶことにより、その良さを再発見してもらおうと実施しているもので、今年で4回目。参加者は、ボランティアガイドを努める高田尊徳さんの説明を聞きながら、江岸寺や六部塔のほか12カ所の史跡などを探検し、秋の棚底路を満喫しました。

ホタルが住む川をいつまでも

～肥後の水とみどりの愛護賞を受賞～

10/28

五和

城河原小学校(田中士郎校長・全児童51人)が10月28日、「平成21年度肥後の水とみどりの愛護賞」を受賞しました。

この賞は、水とみどりの資源保全に熱心に取り組み、着実な成果をあげている県内の団体や個人などに贈られるもの。同校は、川の環境学習として、地域住民らと連携して内野川の水質調査やホタルの観察を定期的実施。また、その調査結果を「ホタルフェスタ」で発表するなど、川の水質保全の大切さを訴える姿勢が高く評価されました。



▲受賞した同校の児童たち

みんなでつくろう安全・安心なまち

～有明町地域安全運動推進大会～

10/13

有明

10月13日、「有明町地域安全運動推進大会」が有明町民センターで開催され、各地区の防犯ボランティア団体や天草警察署員など150人が参加しました。大会では、同署員らによる振り込め詐欺の被害防止を呼びかける寸劇や、自転車の2重ロックなどの防犯に関する講話を実施。また、犯罪のない安全・安心なまちづくりの実現を参加者全員で宣言し、その後、青色回転灯を付けた車(通称・「青パト」)20台に乗り、地区内の防犯パトロールを行いました。



▲犯罪発生状況を説明する同署員



▲記念品を手に喜びの野中さんご家族

来館1万人目は野中さんご家族

～天草文化交流館・来館者1万人突破～

10/31

本渡

天草の伝統工芸の製作体験講座などを行う天草文化交流館の来館者が10月31日、平成20年4月の開館以来1万人を突破しました。記念すべき1万人目は、本渡町にお住まいの野中文雄さんご家族。この日は玲奈さん(本渡南小6年)が作った陶器を見に訪れました。同館から記念品として、バラモン風や天草南蛮手まり、盾を贈呈。文雄さんは「こういうことは新聞記事ではよく見るが、まさか自分たちがなるとは思いもしなかった」と喜びを語っていました。

生きることのすばらしさを学ぶ

～こころの講演会～

10/22

牛深

10月22日、市社会福祉協議会・牛深支所主催による「こころの講演会」が牛深中学校体育館で開催されました。

講演会では、脳の障がいと闘いながら歌手活動を行う一ノ瀬たけしさんと、父親の純二さんが講師となり、たけしさんが病に倒れてから今日までに、家族で分かちあった苦しみや喜びなどが語られました。また、講演の一環として、たけしさんによる歌などが披露され、訪れた約420人の参加者は、心のもった歌声に聞き入っていました。



▲歌声を披露するたけしさん

白秋らの足跡をたどる

～五足の靴ウォークラリー大会～

11/3

天草

11月3日、下田北の五足の靴文学散歩歩道入口から下田南海浜公園までの4.7kmを歩く「五足の靴ウォークラリー大会」が開催され、秋晴れのもと市内外から160人が参加しました。これは、五足の靴文化の里づくり実行委員会が毎年行っているもので、今年で7回目。参加者は、コース途中の各チェックポイントでクイズやゲームに挑戦したり、展望所などから望む澄みきった天草西海岸の絶景を堪能しながら、さわやかな秋のひとときを過ごしました。



▲下田南海浜公園に向け出発する参加者

待望のナースキャップで決意を新たに

～市立本渡看護専門学校・戴帽式～

10/23

本渡

10月23日、市立本渡看護専門学校で「戴帽式」が行われました。これは同校が、看護師を目指す学生に責任と自覚を促し、意識を高めることを目的に毎年実施しているもの。式典では、今年4月に入学した19期生38人が、教員から純白のナースキャップを付けてもらった後、キャンドルを手にナイチンゲール誓詞を斉唱。その後、学生を代表して園田隆史さんと萩田ひろみさんが誓いのことばを述べ、目標とする看護師への決意を新たにしていました。



▲キャンドルの明かりの中、誓詞を斉唱する看護学生

平和への祈りを捧げる

～天草殉教祭～

天草・島原の乱で亡くなった人々を慰霊する「天草殉教祭」が10月25日、本渡地区で開かれました。当日はあいにくの雨となり、キャンドル行列が中止になったほか、仏式法要は明德寺に、カトリックミサは本渡カトリック教会にそれぞれ場所を変更して実施。同教会のミサには、市民や信者など150人が参列。聖歌の合唱などを行った後、白いベールと衣装に身を包んだ少女たちがマリア像に向かって花びらをまき、平和への祈りを捧げていました。



▲平和への願いを込めて花びらをまく少女たち

県下の中学生が健脚を競う

～県中学校駅伝競走大会～

11月17日、「熊本県中学校駅伝競走大会」が、本渡運動公園陸上競技場を発着とする女子5区間12km・男子6区間20kmのコースで開催され、各郡市の予選を勝ち抜いた男女各25校が出場しました。本市からは、女子が牛深、本渡東、本渡、倉岳、男子が稜南、牛深、牛深東、本渡が出場し、男子は牛深が準優勝、女子は本渡東が4位、牛深が5位にそれぞれ入賞しました。なお、優勝は女子が武蔵ヶ丘（菊池郡菊陽町）、男子が人吉第二（人吉市）でした。



▲同陸上競技場をスタートする男子選手

消火技術の向上を目指して

～屋内消火栓操法大会～

「第13回屋内消火栓操法大会」が11月4日、本渡運動公園陸上競技場で開催され、天草地域の事業所や高校などから31チームが参加しました。これは、天草広域連合消防本部が、屋内消火栓の操作技術の向上などを目的に2年に1回実施しているもの。競技は3人1組で、屋内消火栓を操作して標的に向け放水を行い、タイムや動作の正確性などを競いました。優勝は、男子が養護老人ホーム梅寿荘（栖本町）、女子が天草市役所、高校男子が天草高校でした。



▲標的に放水を行う梅寿荘の選手

“天草御所浦ジオパーク”誕生！

～天草御所浦が日本ジオパークに～

10月28日、第6回日本ジオパーク委員会が開催され、天草御所浦が日本ジオパークに認定されました。国内8例目で、県内では阿蘇とともに初の認定。これは、天草ジオパーク構想推進協議会（会長＝安田市長ほか委員14人）が、御所浦の地層を保全しながら、地域経済や教育文化の発展につなげようと同委員会に申請。同地域で目に見ることが出来る化石や地層、これらを活用した体験ツアーなど、地域全体の取り組みが高く評価されました。



▲高い評価を受けた約1億年前の地層“白亜紀の壁”

あつあつ！おいしい秋の味覚

～楽しいやきいも会～

11/5
御所浦

11月5日、「やきいも会」が御所浦北保育所（吉中久恵所長・全園児24人）で行われました。これは同保育所が、子どもたちに土に親しむことや収穫する喜びを知ってもらおうと毎年実施。園児は、自分たちで収穫したイモを洗うなどの準備を行い、その後、イモが焼きあがると先生に「早くはやく」と催促。あつあつのイモにびっくりしたり、よくばって両手にイモを持って食べるなど、秋の味覚をおいしそうにほおばっていました。



▲おいしそうにイモをほおぼる園児たち

野球がつなぐ世代を超えた交流

～OBと現役との軟式野球交流試合～

11/7
河浦

河浦高校創立60周年を記念して11月7日、同校軟式野球部のOB対現役部員の交流試合が行われました。参加したOBメンバーは、かつて高校選手権や国体で優勝を飾った昭和58年度から同60年度の選手や監督、若手OBなど28人。試合は、1回にOBが2点を先制したものの、その後現役が逆転に成功し、5対4で勝利しました。

会場を訪れた観客からは、世代を超えた真剣勝負に大きな歓声や健闘をたたえる拍手が送られていました。



▲惜しくもタッチアウトとなるOB選手

昔ながらの遊びなどを楽しむ

～大先輩とのふれあい教室～

11/10
新和

11月10日、大多尾小学校（三宅和紀校長・全児童49人）で「大先輩とのふれあい教室」が行われました。これは、高齢者が持つ伝統技術や温かい人柄にふれながら、地域を愛する豊かな心を育てることを目的に実施。児童は高齢者から、小刀や裁縫道具などの使い方の手ほどきを受けながら、竹とんぼやおじゃめ（お手玉）、カライモを使ったおやつ作りに挑戦。完成後は、いっしょに竹とんぼやおじゃめ遊びをしたり、給食を食べたりして交流を深めました。



▲大先輩の手ほどきを受けながら竹とんぼを作る児童

“栖本太鼓踊り”が最優秀賞を受賞！

～全国青年大会～

11/13～16
栖本

11月13日から同16日にかけて、東京都の東京体育館を中心に「第58回全国青年大会」が行われ、市青年団栖本支部の“栖本太鼓踊り”が、郷土芸能・民俗芸能の部で最優秀賞を受賞しました。10年ぶり5回目の出場で、最優秀賞は38年ぶり2回目。大会では、関東在住の同町出身者など多くの応援団の声援を受けて、約7カ月間にわたる特訓の成果を十分に発揮。県の重要無形文化財にも指定されている勇壮な踊りで、観客を魅了していました。



▲勇壮な踊りを披露する団員の皆さん

みんなの 広場

市長随筆



天草御所浦ジオパーク

何千万、何億年という途方も無い年月を経て地球が造りだした宝、御所浦の白亜紀の地層や化石と、これを活用した修学旅行などの取り組みが高く評価され、10月28日、「天草御所浦」が、日本ジオパーク委員会から認定されたという、大変うれしい知らせがありました。

ジオパークとは、地質学のジオロジーと公園のパークから創られた言葉で、地球科学的に見て貴重な特徴を持つ地域を含む自然公園を意味します。そして、これを保全し、観光などを通じて地域活性化につなげようというものです。今回は、阿蘇が同時に認定、



▲ドッジボールがんばるぞー！オー!!

笑顔・元気・愛いっぱいのかめ場幼稚園

かめ場幼稚園(かめ場町)

かめ場幼稚園(田中美鈴園長・全園児54人)では「集団生活を楽しみ、人とのかかわる力やみずからの力で行動する態度を養い、健康で心豊かな園児を育成する」を教育目標として、一人ひとりが安心して自分を出し、充実感を味わえるような保育を目指しています。園の周辺は、自然や人的環境に恵まれていて、高齢者の集い「十日会」でのこっばもち作りや「すくすく稜南会」でのあいさつ運動、小学生と一しょに町をきれいにする「亀っ子クリーン作戦」など、地域との交流も深めています。今後も、さまざまな体験を通して、やさしさや思いやり、感謝する心を育み、心豊かに生きるための基盤づくりに努めたいと思っています。



このゆびとーまれ

「心も体も元気な島子っ子」を目ざして

島子保育所(有明町)

島子保育所(杉本富香所長・全園児33人)は、小学校も近くにあり、ふだんから地域の人たちに見守ってもらえる場所にあります。10月のお祭りごっこでは、昔から伝わる「練りこば」を覚えて大きな声で言いながら歩き、地域の人たちに喜んでもらいまし

た。また、野菜や稲作り、干し柿の紐つけなど、さまざまな体験を通じた活動も行っています。このほか、保護者による保育参加では、家庭と園と地域で「ともに育てあふ心」をさらに深めています。今後も、ふれあい・育ちあいの中で「明日も〇〇ちゃんと遊ぼう」と期待を持たせる保育を心がけ、家庭的な雰囲気の中で「心も体も元気な島子っ子」を目ざしていきます。



王子様とお姫様に変身して「はいチーズ」!



わ かつ さい
若っ喝采

牧田みちるさん(御所浦町牧島・27歳)

父といっしょに地元の簡易郵便局で仕事をしています。地域のおじいちゃんやおばあちゃんと世間話をしながら、楽しく過ごしています。御所浦は、空気が澄んでいて夜空に輝く星がとてもきれいです。10月のオリオン座流星群も少し曇り空でしたが、とてもきれいに見えましたよ。



みんなでイモ掘り。今年もたくさんとれました。

みんなでいっしょにがんばっています!

金焼小学校(下浦町) 5年 吉田朱里

私たち金焼小学校は、全校児童20人の少人数の学校です。今年、学校では「【〇〇名人】になります」をしています。一人ひとりになりたい名人を紙に書いて、その名人になるためにがんばっています。私は『字を早く書く名人』を目指しています。

縦割班の活動では「野菜作り」と「イモ作り」をしています。この前、イモ掘りをしました。フリー参観日では、地域のおばあちゃんたちと、おいしいおイモ料理も作りました。ほかにも、金焼地域のみなさんといっしょの運動会、活性化花壇での花植え、一日一汗運動でのゴミ拾い活動などを行っています。小さい学校ですが、地域のみなさんといっしょにがんばっています。



宝島の健康 よろず屋

柳本ナルエさん

(河浦町宮野河内・80歳)

—— 毎日の楽しみは? ——

ラジオを聞くことです。

私の1日は、朝に布団の中

でラジオを聞くことから始

まります。世界中のでき事をいち早く教えてもらえ、

懐かしい歌も流れます。テレビは目が疲れますが、ラ

ジオは疲れることはありません。私の大の友だちです。

—— 健康の秘けつは? ——

身体を動かすことと、清潔に暮らすことがいちばん

です。また、ラジオでニュースなどを聞いて考えたり、

歌を聞いていっしょになって歌ったりすることも健康

に良いのかもしれない。

お世話になった人たちの 気持ちに胸に

牛深中学校(牛深町) 3年 松下歌歩

私たち、牛深中学校駅伝チームは、郡大会で男女アベック優勝を達成し、県大会では男子が準優勝、女子は5位入賞という結果を残すことができました。毎日の練習はとももきつく、逃げてしまいたい時もあったけど、チームみんなで励まし合いながら乗り越

えてきました。しかし、これまでの成績は選手だけの力ではありません。毎日熱心に指導していただいた先生・コーチ、毎週朝早くから試走の送迎をしてくださった保護者など、たくさんの方たちの協力や応援があったからこそだと思っています。



郡大会の優勝旗を手に「ナンバーワン!」



きら 煌めく人^{たち}

「匠の技“洋裁”で光り輝く」

松本 弥生^{やよい} さん（今釜新町・57歳）

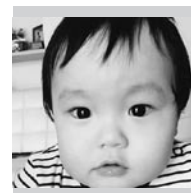
今釜新町に住む松本さんは、10月30日から3日間、茨城県で開かれた「第31回全国障害者技能競技大会」の洋裁部門で最高の金賞を受賞した。松本さんが出場した洋裁部門は、1枚の布地から指定されたデザインの婦人服ブラウスを、制限時間6時間で完成させるもの。出場は3回までと決められており、今回が3回目となる松本さんにとって、これが最後の出場となる。「昨年の失敗はアイロンのかけ過ぎで、素材をいかせなかったのが最大の原因」と去年の反省を踏まえて臨んだ大会

で「びっくりするくらい良いものができた」と、見事にラストチャンスをものにした。松本さんは2歳のときに小児まひになり、左足の自由がきかない状態が現在も残る。職業訓練校を卒業し、地元洋装店や縫製工場に勤務してきた。出場のきっかけは、同じ障がいを持つ人から紹介され、「目標を持って取り組めば必ず周りの人たちから認められる」との思いだった。また、大会に出たことで、ほかの障がい者との交流が深まったことが励みになり、連絡を取り合いながら技術の向上に努めた。

「障がいを抱っている人も、何事も一歩踏み出す勇気が大事なんです」と。また、「みずからの体験を基に、ほかの障がい者も元気づけられたらいいと思っています」と松本さんは語る。

2年後に韓国で開かれる「世界大会の日本代表候補」に選ばれている。「夢は大きく持ち続けて、世界大会での金賞を目ざしてがんばりたい」と目を輝かせていた。

ハッピーバースデー 今月で1歳になります



川原 拓己^{たくみ} くん

亀場町亀川
父・鉄也さん
母・陽子さん

いっぱい食べて、元気モリモリ！すくすく・のびのび育ってね♪



佐藤 柚希^{ゆき} ちゃん

本渡町本戸馬場
父・恵美さん
母・紗世子さん

お兄ちゃんと仲良し!! ずっと仲良し!!



小林 小登音^{ことね} ちゃん

亀場町亀川
父・大作さん
母・和美さん

絵本が大好き♡バイバイがじょうずなので、声かけてね!!



濱 真綾^{まあや} ちゃん

新和町大宮地
父・政文さん
母・由美子さん

近所の皆様にかわいがられ、うちの社長はいつも元気いっぱいです☆



平山 舞^{まい} ちゃん

本渡町広瀬
父・篤さん
母・麻喜さん

兄ちゃんそっくりだけど、みんなに愛される女の子になってね♡



沖崎 莉央^{りお} ちゃん

牛深町
父・健一朗さん
母・京美さん

笑顔がかわいいうおちゃんです♡由奈姉ちゃん大好きでーす♡



松本 向日葵^{ひまり} ちゃん

本渡町広瀬
父・裕晃さん
母・昌子さん

じいじ、ばあば、これからもおてんばな私をよろしくね♡



本人希望により
情報不掲載

絵本とおふろ大好き♡早く旅行や温泉巡りしたいなあ♡



太田 聖七^{せな} くん

佐伊津町
父・翔さん
母・枝里佳さん

兄ちゃんといっしょに遊ぶのが大好き♡仲良く元気に育ってね♡

1月で満1歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝12月10日(木)まで(必着)。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

現代に 息づく

歴史の証

「正光寺の公孫樹」(久玉町)

久玉町にある正光寺の境内に立つ公孫樹は、幹まわりが5m、樹高が約25mで樹齢は推定300年以上になります。しかし、樹勢はいまだに衰えることはなく、毎年美しい黄葉を見ることができます。

正光寺は、天正10年(1582年)に浄土真宗の寺院として開山し、この公孫樹は同寺のかたわらでその歴史を長きにわたり見守ってきました。そもそも公孫樹は、街路樹や神社・仏閣などでよく見られますが、観音像と

ともに日本に渡来したという伝説もあるほど、寺院にはゆかりの深い木です。これは、古来から公孫樹が火に強いとされ、火災の延焼を防ぐことを目的として植えられたほか、樹高が20～30mに達することから、防風の役割を果たすために植えられることもあったようです。明治29年(1896年)に、本堂が大火災に見舞われた際も、この公孫樹は難を逃れています。黄葉は、12月初旬が見ごろです。

皆さん、ぜひご覧ください。



▲力強くそびえ立つ公孫樹

新和町の大宮地区には、自然豊かな清流「大宮地川」が流れ、春はシロウオ、夏はウナギ、秋は川カニ、冬には青のりと、四季折々の恩恵を受けています。大宮地区振興会では『ふれあい豊かな大宮地』をスローガンにして、花いっぱい運動などの環境美化活動や特産品の開発、スポーツ事業や生涯学習活動などを、各部会を中心に実施しています。特に青少年育成事業として、毎年夏に「リバー祭ど大宮地」を開催。小・中学生を対象に、同川でのカヌーやローボート体験のほか、ウナギ捕り体験などを実施し、参加者と地区住民が一体となった事業として好評を得ています。



▲ウナギ捕り体験のようす

自然の恩恵を受け地域の活性化に取り組む

大宮地区振興会(森 茂三^{しげさう}会長)

と云われている「神掛けの滝」は、険しい山道の峠にあるためあまり内外に知られておらず、地区のシンボルとして整備を行う必要があると感じています。

今後も、地区のすばらしい自然や歴史をあらためて見つめ直し、地域活性化に貢献する取り組みを行っていきたいと思います。



【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



編集後記

最近、B級グルメが注目を集めています。低価格でおいしく気軽に食べられるため、人気があるようです。私はB級グルメの豚足が好きですが、食べた次の日は面がギラギラに。お肌に必要なコラーゲンが吹き出しすぎて、C級の男が一気に「老朽」します。【凡】

今年一番うれしかったことは、健康診断で体重と腹囲が昨年とまったく変わらず現状維持できたことでした。看護師さんから「すばらしい」と言われ、本当にうれしかったです。年齢を重ねてくると体型が崩れていくので、これからもこの体型をキープするぞ！【走】

先日、わが家のインフルエンザ対策と称して、私が娘に行う数々の「濃厚接触」に対し、妻から「自粛要請」が。おやすみ前や出勤前のお約束事をはじめとして、くど過ぎるスキンシップなどが対象とのこと。ああ、私の数少ない楽しみのひとつだったのに…。【素】

今年は、いろいろな人との出会いがあり、また、支えられた1年でした。両親をはじめ、友人や周囲の人たちなど、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。来年は、生活環境が大きく変わりますが、自分らしくマイペースにがんばっていきたいと思います。【葉】

地域に根ざす 郷土料理

Vol.8
御所浦町

～御所浦の伝統料理「魚のすり身のつみれ汁」～



イワシ漁が盛んで冷蔵庫がないころの保存法として、イワシをすり身にして蒸すか焼くなどのほか、ゆでて干したりしていました。「魚のすり身のつみれ汁」は、自家栽培の野菜で汁を作り魚のすり身のちぎりを入れたもの。当時は、イワシのすり身がよく使われていました。この「つみれ汁」を、冬の鍋料理などで試してみませんか！

材 料 (約6人分)

魚すり身 …………… 360g
しょうが …………… 15g
大根 …………… 120g
にんじん …………… 90g
ごぼう …………… 90g
こんにゃく …………… 90g
干しいたけ …………… 10g
長ねぎ …………… 20g
だし汁
・出し昆布 …………… 10cm角
・かつお節 …………… 30g
・水 …………… 6カップ
塩 …………… 3g
薄口しょうゆ …大さじ1杯半
酒 …………… 大さじ1杯半

作 り 方

- ① 昆布とかつお節でだしをとっておく。
- ② 干しいたけは戻して4つくらいに切る。戻し汁は①のだし汁に加える。(全部で6カップにする)
- ③ 大根・にんじんは皮をむいていちょう切りにする。ごぼうは皮をこそいで斜め切りにして、水にさらしておく。こんにゃくは食べやすい大きさの薄切りにしてさっとゆでしておく。
- ④ だし汁に酒を加えて煮立て、②のしいたけと③の野菜を入れて炊く。魚のすり身に刻んだしょうがを入れて混ぜ合わせ、食べやすく丸めてだし汁に入れる。
- ⑤ 野菜とつみれが煮えたら、塩としょうゆで味を調え、刻んだネギを散らして火を止める。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル



【市の花】
はまぼう



【市の木】
あこうの木



【市の鳥】
かもめ



【市の魚】
鯛

わたしたちは、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、ここに天草市市民憲章を定めます。

一 感謝の心をもち、豊かな「しぜん」を守ります
一 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
一 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
一 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
一 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます

市民憲章

平成21年3月27日制定